



望月喜代志副会頭 有限会社 望月商店

八木美樹男副会頭
株式会社 セルタン

中村幹夫会頭
株式会社 大和ケミカル

杉田泰繁副会頭 株式会社 杉田商事

前場敏男副会頭 扇や製麺店

000社以上に増強します。厚木の商業者の方々の皆さんのチカラを結集すれば必ず達成できると信じております。
――それでは厚木の最大の強みはなんだとと思われますか。

皆さんから、商工業発展に関する意見や、要望をお聞きします。それらの議論を集約し、過去の慣習にとらわれない、新しい街づくりを進める事が必要と考えます。そのためにも我が商工会議所のパワーアップを図る事が急務です。市内の事業所数のボテンシャルは約1万社あり、現在、会員登録事業所は約2千社で組織率は20%程度と危機的な状況にあります。ちなみに近隣の会議所の平均組織率は、38%です。今後3年間で「Power UP・30

には良き街であると感じます。しかし近隣の自治体が進める差別化を目指したイノベーション事業に対して、シャッター商店街を眺めつづ我が街はこのままで良いのかと一抹の不安と危機感を持ち、皆さんが居られる事も事実です。——これから厚木の経済発展に必要

——明けましておめでとうございます。
中村会頭、よろしくお願いします。ます
は、今の厚木をどう見ていますか。
安心・安全なまち そして子育て環境
を含め福利厚生面の充実、緑の多い

A composite image featuring two portraits of a man in professional attire. The top portrait is a close-up from the chest up, showing him from the shoulders up. The bottom portrait is a slightly larger view from the chest up, showing him from the chest up. To the right of the images is vertical Japanese text.

厚木の商工業発展のために 強い商工会議所へ

過去の慣習にとらわれない、
新しい街づくりのために
——されでは、副会頭のみなさまにお　の交代により我ら副会頭への使命+

事務理事・部会・ブロック会議・青年部・女性会の代表のみなさんへ *敬称



八木副会頭 伝統と格式の石川会議
から改革、チャレンジへの中村会頭。

過去の慣習にとらわれない、新しい街づくりのために

— それでは、副会頭のみなさまにお聞きします。副会頭として、経済人・企業人として今年の抱負をお聞かせください。

杉田副会頭 40年間不動産関連の事業に関わってきました。創業より、企業の目標は社会貢献にいかに関わっていかれるかを第一に考え取り組んでまいりました。鮎まつりへの協賛や少年野球や音楽イベントの後援で、一企業として厚木の街づくりに参加させていただいております。

厚木は市制60年を超える歴史と文化の街です。人間にたとえれば、やんちゃ盛りの若者ではなく、どつしおと構え、冷静に対処し、世の中の流れを見通しながら、「成熟した街」「格式ある街」とあるべきと考えます。そうあるためにも商工業の持続的な発展は欠かせません。愛する街のために経営者として副会頭としてまい進したいと考えています。

00の目標は、容易でない命題ですが、正副会頭、議員、職員がスクラムを組んで情報を共有しあえれば達成できる目標だと考えています。

今は、まさに不確実の時代で、アレグジッドやトランプ米大統領の誕生など多くの専門家の予測とは逆の事実が増えています。大幅な円安は弊社には大きな逆風ですが、文句を言つても状況は変化しないのでピンチはチャンスと考え、機敏に対応したいと考えます。

前場副会頭 中村会頭から副会頭への就任の要請をいただいたときはとても戸惑いました。しかし生まれ育つたふるさと厚木で、長年商売を営んでくることができたのも、周囲の支えが方々や厚木市に恩返しをするべきだとも考え、お引き受けいたしました。

私は学校を卒業後、修行を経て昭和37年に製麺店を開業しました。現在

は全国製薬協同組合連合会の会長職などを拝命しております。日々現場に立ちながら、全国を飛び回る日々ですが、そこで繋がった縁があり、多くの学びがあります。これまでの経験と現在の多くの縁を礎に、まちの活性化に貢献できるよう、困ったときにはお互いが助け合えるような人情味のある街であるよう、尽力していきます。

望月副会頭 私は大正8年創業の酒屋の3代目です。その家業は中学卒業を前に財政難から継続の危機となりましたが、かならず再建したいとの思いから、商業高校で学ぶかたわら、各所で修行をしました。再建できたのは27歳のとき。絶縁曲折ありましたが、いまでは全国各地の地酒の販売も行っています。全国を見てまわり、そして地元。厚木へ戻ってきました。「商売人は毎日がイベント」。1店舗1店舗が地域をつなげ、盛り上げる使命があると思います。中村会頭から副会頭の「指名をいただき、ありがたく思つと同時に身の引き締まる思いです。

厚木商工会議所 入会のご案内

商工会議所は、明治11年に日本の資本主義の父と呼ばれる渋沢栄一翁を中心に実業界を代表する面々が自主的に集まって創設された経済団体。全国に515の商工会議所があり、会員数は126万事業所に達します。民間企業の味方として商工業者の声を国・県・市などへ積極的働きかけ 国を動かす団体です

入会資格

厚木市内で営業されている商工業者なら法人・個人を問わずだれでも会員になります。また、市内で事業活動を行う団体（協同組合・医療法人・学校など）、個人（医師・弁護士など）も会員となることができます。

会員になると…

- * 税務・法律・労務・特許などの専門家のアドバイスが受けられます
 - * 無担保、無保証人の融資の推薦や国・県の資金紹介をあっせんします
 - * 万一に備えた各種保険も割安で加入できます
 - * 従業員研修や定期健康診断も充実
 - * 労災・雇用保険など煩雑な事務手続きもおまかせください
 - * ネットワークがひろがり、ビジネスチャンスにつながります

ともに厚木経済を盛り上げるために立ち上がりましょう!

詳くは、厚木商工會議所 TEL 046-221-2151へ